

(お知らせ)



平成30年4月27日

リサイクル燃料貯蔵株式会社

青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた  
県の確認・要請に対する対応状況の報告について

平成23年11月21日、青森県原子力安全対策検証委員会報告を踏まえ青森県知事より当社へ安全対策に対しご要請があった「県内原子力事業者間による連携強化」並びに「訓練の充実・強化」の2つの事項に関し、同年12月1日に当社としての対応をご報告し、その後の対応状況については、各年度末を節目とし、毎年4月にご報告しております。

この度、平成29年度の対応状況について、本日青森県へ、添付のとおりご報告いたしましたので、お知らせいたします。

当社は、青森県からの要請事項について取り組むとともに、地域の方々から安全・安心な施設とご認識いただけるよう、今後とも最善の努力をもって事業を推進していく所存です。

以 上

別紙：青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた県の確認・要請に対する対応状況について（平成30年3月末現在）

問い合わせ先  
リサイクル燃料貯蔵株式会社  
立地・広報グループ  
安藤・甲田  
TEL 0175-25-2992

別紙

青森県原子力安全対策検証委員会報告を受けた  
県の確認・要請に対する対応状況について  
(平成30年3月末現在)

平成30年4月

リサイクル燃料貯蔵株式会社

## 目 次

1. はじめに	1
2. 対応状況	1
(1) 県内原子力事業者間による連携強化	
(2) 訓練の充実・強化	
(3) 自主的な取り組み	
3. 終わりに	3
4. 添付資料	3
・「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」における活動内容 (平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)	

## 1. はじめに

平成 23 年 11 月 21 日、青森県原子力安全対策検証委員会報告を踏まえ青森県知事より当社へ安全対策に対しご要請があった「県内原子力事業者間による連携強化」並びに「訓練の充実・強化」の 2 つの事項に関し、同年 12 月 1 日に当社としての対応をご報告致しました。

その後、年度毎に当社としての対応をご報告してきており、この度、平成 29 年度の取り組み状況について、とりまとめましたのでご報告致します。

当社は、青森県からの要請事項について取り組むとともに、地域の方々から安全・安心な施設とご認識いただけるよう、今後とも最善の努力をもって事業を推進していく所存です。

## 2. 対応状況

### (1) 県内原子力事業者間による連携強化

当社は、平成 23 年 12 月 9 日に締結した「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」に基づく「原子力安全推進協議会」および「原子力安全推進作業会」を以下のとおり開催し、青森県内における原子力災害への対応能力向上のための活動などに係る相互協力を行っております。

- ・原子力安全推進協議会：平成 29 年 11 月 14 日、平成 30 年 3 月 29 日
- ・原子力安全推進作業会：平成 29 年 6 月 28 日、9 月 27 日、12 月 22 日、平成 30 年 3 月 8 日

上記会議に基づく具体的な活動については、以下のとおり実施しております。  
(添付資料参照)

### <平常時における安全管理等に係る協力活動>

- ①当社による講演会「火災・消火に関する講演会」(平成 29 年 9 月 4 日)
- ②当社による講演会「安全文化とは何か？」(平成 29 年 9 月 28 日)
- ③当社による講演会「(日本原子力発電株式会社の)核セキュリティへの取組みについて」(平成 29 年 11 月 9 日)
- ④東北電力株式会社による講演会「ヒューマンエラーと新しい安全マネジメント」への参加(平成 29 年 11 月 22 日)
- ⑤日本原燃株式会社による講演会「安全文化について考えてみよう」への参加(平成 30 年 2 月 5 日)
- ⑥東北電力株式会社による講演会「核セキュリティ：原子力事業者の役割」への参加(平成 30 年 2 月 7 日)
- ⑦電源開発株式会社による講演会「モチベーションが 10 倍上がる視点の見つけ方」への参加(平成 30 年 2 月 21 日)
- ⑧新規制基準の対応状況に関する情報共有
- ⑨原子力事業者防災業務計画の見直し等に関する情報共有

<訓練等による原子力災害への対応能力向上のための協力活動>

- ① 東北電力株式会社，日本原燃株式会社における原子力防災訓練に関する実施内容および改善事項等の情報共有
- ②各社の原子力防災訓練等の概要および改善事項等の情報共有

県内原子力事業者間による連携強化の活動内容は上記のとおりであり，平成30年度以降も引き続き，「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」に基づく活動を通して，更なる安全性や技術力向上と原子力災害への対応能力向上に向け取り組んでまいります。

## (2) 訓練の充実・強化

当社は，使用済燃料の貯蔵管理に万全を期すため，平成29年度は金属キャスクの取り扱いに関する力量の維持・向上と危機管理能力の向上を目的とした以下の訓練を実施しました。

### ①金属キャスクの取り扱いに関する訓練

- ・キャスク取扱訓練：三次蓋の取り付け訓練  
(平成30年2月14日，計1回)
- ・搬送台車取扱訓練（平成29年7月4日他，計5回）

### ②危機管理能力向上のための訓練

- ・消防訓練（平成29年5月26日他，計6回，厳冬期対応訓練 平成29年3月3日他，計2回）
- ・通報連絡訓練（平成29年7月27日他，計5回）
- ・電源喪失時対応訓練（平成29年6月21日他，計2回）
- ・総合防災訓練（平成29年6月19日他，計4回）

今後も安全性向上への取り組みに終わりはないという意識のもと，訓練を計画的に実施するとともに，その結果の評価や反省・改善事項等を次回訓練に反映することにより技術・技能の維持・向上に取り組んでまいります。

## (3) 自主的な取り組み

自主的な取り組みとして，以下の活動を継続して実施しました。

- ①品質保証活動の充実・強化に向けた品質監査部による業務監査の実施
- ②地震・津波等に関する新知見や研究動向などの情報収集と評価の実施

### 3. 終わりに

平成 23 年 12 月の「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」の締結以降、「県内事業者間による連携強化」に関する活動を行ってきました。平成 30 年度以降も引き続き、「同協定」に基づく活動を通して、更なる安全性や技術力向上と原子力災害への対応能力向上に取り組んでまいります。

また、引き続き、青森県からの要請事項に基づく「訓練の充実・強化」や、「自主的な取り組み」を継続し、リサイクル燃料備蓄センターの更なる安全性向上に取り組むとともに、地域の方々から安全・安心な施設とご認識いただけるよう情報公開に努め、今後とも最善の努力をもって事業を推進していく所存です。

### 4. 添付資料

「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」における活動内容  
(平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)

以 上

「青森県内原子力事業者間安全推進協力協定」における活動内容  
(平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)

活動項目	活動内容	備考
平常時における安全管理等に係る協力活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当社による講演会「火災・消火に関する講演会」(平成 29 年 9 月 4 日)</li> <li>・当社による講演会「安全文化とは何か？」(平成 29 年 9 月 28 日)</li> <li>・当社による講演会「(日本原子力発電株式会社の)核セキュリティへの取組みについて」(平成 29 年 11 月 9 日)</li> <li>・東北電力株式会社による講演会「ヒューマンエラーと新しい安全マネジメント」への参加(平成 29 年 11 月 22 日)</li> <li>・日本原燃株式会社による講演会「安全文化について考えてみよう」への参加(平成 30 年 2 月 5 日)</li> <li>・東北電力株式会社による講演会「核セキュリティ：原子力事業者の役割」への参加(平成 30 年 2 月 7 日)</li> <li>・電源開発株式会社による講演会「モチベーションが 10 倍上がる視点の見つけ方」への参加(平成 30 年 2 月 21 日)</li> <li>・新規制基準の対応状況に関する情報共有</li> <li>・原子力事業者防災業務計画の見直し等に関する情報共有</li> </ul>	次年度以降も継続実施
訓練等による原子力災害への対応能力向上のための協力活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北電力株式会社, 日本原燃株式会社における原子力防災訓練に関する実施内容および改善事項等の情報共有</li> <li>・各社の原子力防災訓練等の概要および改善事項等の情報共有</li> </ul>	次年度以降も継続実施
とりまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度の活動計画を作成</li> </ul>	本計画に基づき平成 30 年度の活動を実施